

**宮私幼PTAだより**

第97号

発行 者 連 合 会  
宮 幼 P T A  
(会長 佐々木 幸士)

編集 集 委 員 会  
広 報 者 員 会

事務局  
仙台市青葉区国分町三丁目6-12  
佐正第二ビル6F  
電話 (022)263-7040 番

# 感謝とねぎらいの気持ちを大切に



宮城県私立幼稚園PTA連合会

会長 佐々木 幸士

昨年は、新型コロナウイルスの感染拡大により、私達の生活が、かつてない経験に振り回され、あらゆる活動が自粛という形で断念せざるを得ない、我慢の一年となりました。

各園におかれましても、何を行うにしても、まずは感染対策を万全に取らなければならず、コロナ禍の中で、園児の安全と教育の質を両立させるためには、これまで以上に大変なご苦労があったことと思います。

感染リスクの不安を抱えながらも、子供達の健やかな成長のため、幼児教育の振興にご尽力下さいました教職員の皆さまに対し、改めて敬意と感謝を申し上げます。

さて、春は子供達にとって新たな節目を迎える単立ち、自我の芽生えの季節であり、親御様にとりましては、お子様の確かな成長を強く実感できる季節でもあります。年長児の親御様は卒園するお子様の成長した様子に喜びを感じなが

らも少し寂しい思いもあり、小学校に入学する期待と不安の気持ちが交錯していることと思います。

また、年中・年少児の親御様も、お子様の言葉や行動に表れる毎日の変化に、目覚ましい日々の成長を実感しながら喜びを感じていることと思います。

親子の何気ない日常や、親子で触れ合う一瞬一瞬が、お互いにとってかけがえのない大切な時間であること、そして、子供の成長とともに、親もまた「社会的」「人間的」に成長していくことを、私も自らの体験を通じて改めて認識しているところでございます。

いまだコロナの収束は見えず、人と人とのふれ合いの機会が少なくなっておりますが、日々の生活や幼稚園の中では「感謝」や「ねぎらい」の気持ちを常に持ち、子供達と親御様、そして先生方がそれぞれの思いを素直に伝えながら、お互いの心のつながりを大切にして参りましょう。

## コロナ禍における宮私幼としての取り組み対応等について

宮城県私立幼稚園連合会副理事長

多賀城高崎幼稚園園長 根来 興宣

保護者の皆様には、日頃より当連合会の活動にご理解とご協力をいただきありがとうございます。令和二年度は、非常事態宣言の発令により、例年通りのスタートはできず、すべての園に臨時休園や登園自粛が求められ、本格的に始動したのは六月からでした。その間、新型コロナウイルス感染予防に関するさまざまな情報や予防対策が内閣府より発出され、幼稚園の日常生活そのものが変わりました。

しかし、これらのことは、急きょ対応したため、万全な対応だったとは考えていません。特に情報提供や研修会のオンライン化は、一時的に感染予防に対応したものにすぎず、今後、オンライン業務を恒常的に行うには、当連合会の通信設備のセキュリティ強化や管理に関する規定等の整備が必要になるなど課題があります。

このような状況下で、宮城県私立幼稚園連合会では、初めに、当会に所属する各園の感染症対策の状況や不足している物資をアンケート調査し、その実態の把握に努め、今後の連合会の対応方針を定めました。次に、国が新型コロナウイルス感染予防法や対応方針を定める頃、各園が感染者発生時の対応に苦慮することを想定し、発生時のガイドラインを作成し配布しました。またこれと並行して、例年行っている教員免許状更新に必要な研修会やスキルアップのための研修会は、オンライン開催に変更したり、中止にしたりなど、感染状況を鑑みながら、実施方法等を判断してきました。

最後になりますが、保護者の皆様の大切なお子さんたちが園で過ごす時期は、人間形成の基礎が培われる極めて重要な時期です。特に集団教育で学ぶことは、家庭教育では学べない、子ども達の非認知能力を伸ばす経験がたくさんあります。その重要性は非常に高くあります。今後例えどのような社会状況であったとしても、私たちは、子ども達の必要な体験や成長を促すことを第一に考え努めてまいります。これからも当連合会及び、各教育・保育施設に変わらぬご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

## 宮城県知事・県議会議長への要望活動

令和三年  
一月二十七日(水)に宮  
私幼連合会  
・宮私幼P  
TA連合会  
の代表一〇  
名が、村井  
嘉浩知事と  
石川光次郎  
県議会議長  
に面会し、  
要望書を提出  
しました。



コロナウイルス感染防止のため例年より人数をおさえての陳情活動でしたが、知事・議長から感染症対策等に引き続き支援を検討していく旨の回答をいただきました。

### 令和三年度行事予定

▼宮私幼PTA総会  
期日 令和3年6月7日(月)  
会場 仙台市民会館小ホール

▼宮私幼PTA親善バレーボール大会  
期日 令和3年10月19日(火)  
会場 セキスイハイムスーパーアリーナ

※研修大会は中止いたします。  
他の行事も状況により中止する可能性があります。

# 地区だより

## 塩釜地区

### 思い出のバザー

柏幼稚園(P) 奥山 麻紀



最大の行事と言えば、バザー(夏祭り)です。

毎年何を販売するか、仕入れ先企画から看板作り、当日の設営まですべて役員で考えます。食品以外でも、保護者のハンドメイドや手作りのおもちゃは、年々クオリティーが高まり、子どもだけでなく大人も興味津々に手に取っている姿が印象的でした。

ところが今年新型コロナウイルスの影響で外での焼き物等の販売が難しく、バザーは中止かと思われました。園長先生や幼稚園の先生方とも話し合い、子ども達も毎年楽しみにしているバザーをなんとか開催できないかと考えました。そして、食品は個包装になっているものを販売する、おもちゃやクジ、フリーマーケットを中心として入れ替え制で行う等、皆でたくさん意見を話し合い開催に漕ぎ着けました。

当日まで例年と違う形態でのバ

ザーに、準備も案内も品物もすべてが手探りで不安と期待を抱きながら本番を迎えました。

そしてバザー当日、お祭りの雰囲気を楽しむたくさんの親子の姿購入したおもちゃを満足気に手に持つ子ども達の姿があちこちで見られ、役員一同達成感で一杯になりました。

制限が多い中で、準備からたくさんのお母さん達と話し合い悩んだり、考えたり笑ったりした時間はこの状況だからこそ、より貴重なものとなりました。保護者が一つの目標に向かって頑張る姿が子ども達に伝わり、色々な場面面で応援してくれたら、笑顔を見せ楽しんでる様子は、私たちのパワーの源となりました。

先生方のご協力もあり、今年度バザーを開催できたことは、とても嬉しく充実した時間となりました。



### 柏木神社の秋祭り

柏幼稚園(P) 奥山 麻紀

柏幼稚園は神社幼稚園で、園の隣には柏木神社があります。

毎年十月に神社のお祭りがあり、子ども達が作るとも愛らしいお神輿を担ぎます。又、年長組はこの時に男の子が「和太鼓」、女の子が「浦安の舞」を神社に奉納します。年長組の堂々とした発表を見る年中少組の子ども達の表情も真剣です。きつと年長さんになつたら自分たちもあの格好で発表するんだと伝統を引き継ぐ気持ちを感じているのかもしれないですね。女の子のきれいなお化粧巫女さんの姿はこの時だからできる特別なもので、とても品があります。柏幼稚園ならではの体験はとても素敵で趣深いものです。

そして、このお祭りは地域に根ざしており、子ども達のお神輿の他に、神社に保管されている立派なお神輿を地元の小学生や消防団が担ぎ、近所を練り歩きます。お神輿が通ると地域の方たちが目を細め声をかけてくれ、何キロも歩く小学生も最後までワッショイワッショイと歩き、最後までやり遂げる姿にたくましさも感じます。

今年新型コロナウイルスの影響でお神輿はできませんでしたが、年長組の奉納は発表することができました。

地域のつながりはこんな時代だからこそより大切になってきます。お祭りを通して、子ども達の生き生きとした姿を見て、皆で未来あ

る子ども達の成長を見守っていきたくらと願っています。



### 心をひとつに大運動会

柏幼稚園(P) 白鳥 純子



今年度は、新型コロナウイルスの影響で六月からの登園となりました。

も様々な催し物が見送られてしまいが、今年卒園を迎える年長さんはどこか寂しい気持ちでいました。毎年、柏幼稚園では一年を通してたくさんの行事が行われています。その中でもみんな楽しみにしているのが運動会です。

例年は、親子競技や祖父母が参加しての球入れ、小学生による障害物競走、未就園児のかけっこなど、たくさんの方が集まる楽しい運動会でした。

しかし今年、このような状況にあり、中止になってしまおうのかと心配していましたが先生方のご尽力で運動会を開催していただけることになり、本当に嬉しい気持ちでした。

暑い中、練習を頑張っていたのでしよう。持たせた水筒は毎日空つ

ぽでした。家に帰ってから、出し物の練習をしたり、早く走るにはどうしたらいいの?とお父さんに教わったり、運動会を心待ちにしているのが伝わってきました。

当日は二部の入れ替え制で行われました。初めての体制で臨む運動会でしたが、園児たちはいつも通りでした。競技が始まると、緊張した表情、やりきった笑顔、悔しかった顔。そんな子ども達を見守る先生の優しい顔。忘れません。年長さん達の「これからも心をひとつに頑張ります!」という力強い声が響き渡り、「この子達は大丈夫」と誇らしい気持ちになりました。園児たちの頑張りを肌で感じる事ができ、本当に有意義な運動会となりました。



# 名取・岩沼地区

## 手作りのマスク

ふたば幼稚園(P) 佐藤 郁子

新型コロナウイルスの影響で三月四日から臨時休園になり、これからどうなるのかと不安を抱える中、ふたば幼稚園の先生方からお便りが届きました。

中身は、「げんきでがんばろうね!」と書いてあるメッセージと可愛らしいマスク。

今ではようやくあちらこちらの店で購入することができるマスクですが、当時は普通サイズのマスクはもちろん売れ切れ状態で、ましてや幼稚園児の子ども達に合う小さなマスクなどを探してもないという状況でした。

家の中で子どもと共に先の見えない不安の中で自粛生活を送りながら、この素敵な贈り物を見て勇気づけられました。

息子が家の中でそのマスクをつけてみせた時、「似合うね、いいなあ」とお姉ちゃん達に羨ましがられ、照れくさそうに笑っていました。可愛



しいふたばマークのついたマスクは子ども達の宝物になりました。ようやく臨時休園が明け、六月から登園が始まると、子ども達はお揃いのマスクをつけて、にこやかにお互いのマスクを見つめていました。



例年なら新しい学年に上がり、緊張した様子の子どもが多い新学期となるのですが、みんなお揃い、でもふたばマークが色違いでしたので、「あー赤い葉っぱだ!」「青い葉っぱいいなあ」と盛り上がりつつあったのが印象的でした。

五〇二名の園児一人一人に心を込めてマスクを作った先生方には感謝の気持ちでいっぱいです。

先生方の作ってくれたマスクは新型コロナウイルスの感染を予防するだけではなく、子ども達に大変な時こそ誰かのために行動するということ、そして親である私達にみんなと一緒に頑張ろうというメッセージをくれたのだと思います。

## ふたば幼稚園大運動会

ふたば幼稚園(P) 石戸谷真己子

毎年十月には、ふたば幼稚園大運動会が行われます。この日のために、子ども達は夏休み明けから一生懸命練習に取り組んでいきます。子ども達を応援しようと、この日はやはり、広い広い園庭もたくさんのご家族でいっぱいになります。

ファンファーレが鳴り、約五〇〇名の子ども達がどこか恥ずかしそうに、でもピンと伸ばした指先を大きく前後に振り行進する立派な姿には、毎年感動してしまいます。

今年、年長の娘にとつて幼稚園最後の運動会です。

年少さん、年中さんだったころ、年長さんの鼓笛隊を見て、あの楽器やってみたいいな、カッコいいなと憧れたことでしょうか。

そして、その憧れの楽器や旗、パトンやボンポンを手にした子ども達は、一段とたくましく凛々しく見えます。

指揮者の笛の合図で、一七五名の子ども達の心を一つにした演奏が始まると、一気にその迫力に圧倒されてしまいます。

演奏しながら、次から次への隊列を変えていく子ども達。祈るように手を合わせて見守る先生方の姿に、どれほど練習したのだろうと胸がいっぱいになります。

楽器の子ども達は力強く、パトンやボンポンの子ども達はしなやかに可愛らしく、指揮や大旗、小旗の子ども達は凛々しくと、見事に自分のパートをこなすその姿は、まさに幼稚園最後の集大成にふさわしいものです。

四月からは一年生になる娘ですが、きつとこのふたば幼稚園で学んだことが大きな力になっていくと思います。

令和二年度の大運動会は、新型コロナウイルス感染防止に配慮いただき、学年ごとの分散縮小というものになりました。

近い将来、子ども達のために皆様の幼稚園でも、ふたば幼稚園でも、その幼稚園らしい運動会を再び開催することが出来ますように、新型コロナウイルスの一日も早い収束を心よりお祈り申し上げます。



ふたば幼稚園(P) 及川 雅子

## ふたば子ども発表会

ふたば幼稚園では毎年、年間を通してたくさん行事が行われています。その中でも二学期の一大イベントの一つが十二月に行われる「ふたば子ども発表会」です。

大人でも広いなと感じるほどのふたば幼稚園の立派なステージで、一人一人堂々と立ち、とってもかわいいうたやダンス、思わず引き込まれてしまうようなお遊戯や劇を披露してくれます。年長さんになると演目も

増え、素敵な音色のハンドベルや力強くかつこい太鼓など、それはそれは毎年圧巻のステージで、学年ごとクラスを越えて力を合わせて堂々と頑張る姿に、保護者ももちろん祖父の皆さんも毎年心待ちにしているのがこの発表会です。

発表会が近づいてくるにつれ、いつもニコニコ笑顔で練習してきた歌を口ずさみ、「発表会ではこうやってやるんだよ!」と嬉しそうに話してくれる子ども達を見て、親としてもとても嬉しく、楽しみに幼稚園に送り出すことができました。

迎えた発表会当日、今回は先生方のみ見守られながら行われた発表会にはなりましたが、一人一人に合わせた先生方の手作りのきめ細やかで華やかな衣装を身にまとい、ダイナミックな背景の大きなステージで緊張感のなか、やり遂げた子ども達からは大きな「自信」が感じられました。

新型コロナウイルスの影響で例年通りには行えない行事もあったかとは思いますが、先生方の日々徹底した消毒作業、検温やマスクの着用で子ども達も元気いっぱい登園することができました。毎日一刻と状況が変わっていく中で、工夫を



しながら子ども達の思い出に残る発表会を実行して下さった先生方には感謝の気持ちでいっぱいです。

# 大崎・栗原地区

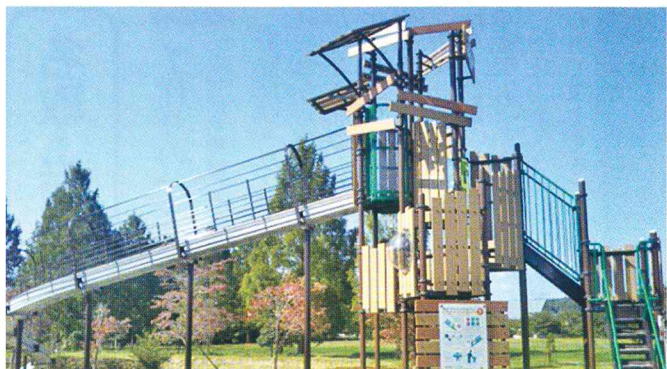
## 化女沼・古代の里

千手寺幼稚園(P) 神成 裕太

今年度、大崎栗原地区PTA会長をさせていただいております千手寺幼稚園愛育会会長の神成と申します。

今年度は、子ども達にとっても、保護者の皆様にとっても「いつも」と違う年だったのかなと感じています。コロナ禍による影響で、多くの幼稚園行事が中止又は内容を変更して開催することとなり、「いつも」と違った一年となりました。

子ども達は寂しい・悲しい思いを抱いたと思いますし、保護者の



皆様や先生方はそういった気持ちを抱かせないためにご苦労をされていると思います。

そんな状況ではありましたが、幼稚園愛育会として「なつまつり」を開催できたことが印象に残っています。

役員の方々に協力していただき、一から小道具を作成したり、当日の消毒作業をしていただいたおかげで、ちよつとした緑日気分を子ども達に味わってもらえたのではないのでしょうか。

「楽しかった」「もっとやりたい」と子供たちがくれる純粋な気持ちは親としての原動力となるなあと感じました。

そんな「いつも」と違うコロナ禍ですが、大崎栗原地区からは、おすすめスポットを紹介させていただきます。

私からは、私がこのコロナ禍で特に遊びに行った「化女沼・古代の里」という施設を紹介させていただきます。

古代の里は、大崎市古川北部に位置しており、東北自動車道長者原SAからも近く、広大な敷地の中には、広い芝生広場や散策道、多くの遊具が置かれております。特に、昨年リニューアルされたローラー滑り台がおすすめで、一度滑っただけでは満足できない魔性の魅力を備えています。(残念ながら年齢制限があります。)

遊具を利用する時は、距離が近くなることもあるので、マスクを付けるなど気を使う場面はありますが、広い芝生広場ではサッカーや野球、かけっこなど、周りに気兼ねすることなく楽しむことができます。

敷地内には、ベンチやバーベキュー広場も設置されているので、ピクニックをするにもうってつけのスポットです。

また、化女沼周辺では、NPO団体の方々が二本以上の桜を植樹・管理されていて、春になると至るところで綺麗な桜を楽しむことができます。

新型コロナウイルスの影響が続く中、「いつも」の生活を取り戻すことはまだ先のことですが、この機会に「いつも」と違った場所に出掛けてみてはいかがでしょうか。



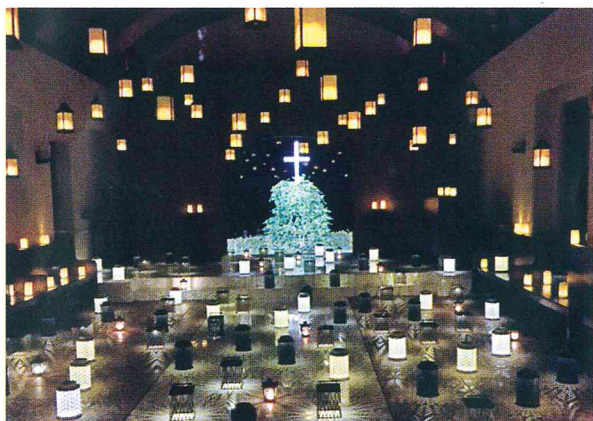
## やくらいガーデン

小鳩幼稚園(P) 伊藤 弘

加美町は宮城県北西部に位置し、鳴瀬川や栗原山など、自然豊かな

エリアです。特に、栗原山周辺は温泉、コテージ、ガーデン、プールやスキーなども楽しめるエリアで、地域住民のみならず、県内外各地からたくさんの方々がやって来ます。

その中でも、家族連れや子供連れに人気のスポットとして、加美町小野田地区に「やくらいガーデン」があります。やくらいガーデンでは四季折々の花が咲き誇り、見渡す限りの美しい花は来園者の心を和ませてくれます。広大な敷地に咲く花は八つのテーマに分けられ、歩道を散歩しながら写真を撮影したり、立ち止まって花をゆっくり眺めたり、丘のてっぺんにある展望台に上ってガーデンを見渡したり、楽しみ方は様々です。季節によってイベントの開催などもあり、ゲームにチャレンジしたり、動物と触れ合える機会があったり、モノづくりのワークショップに参



加するなど、何度訪れても新しい発見があります。ガーデン内はSNS映えるスポットも多く、敷地内のチャペルでは結婚式を執り行うこともあり、冬期には夜間のLEDライトアップイベントなども実施されるので、昼夜でガーデンを楽しめます。また、栗原山の雄大な景色をバックに、ガーデンを満喫した後は、旬の食材や地場野菜を使った併設のカフェレストランや、ガーデンショップではお土産に小物や雑貨などのショッピングもおすすです。

栗原山周辺を楽しんだ後は、帰りにぜひ小鳩幼稚園を経由してみて下さい。園に隣接の「加美町食堂ピッチョーネ」では地元食材を使ったおいしいピザやパスタが人気です。「ピッチョーネ」とは幸せの象徴である『鳩』を意味しています。ぜひ、ご家族で加美町へ足を運んでみて下さい。